

翔べ！松中生

令和3年度 第6号 10月1日発行

「過去・現在・そして未来」

校長 齋藤 明

10月になり、朝晩はだいぶ涼しく感じられ日中はとてもすがすがしい季節となりました。まさに、1年の中で一番過ごしやすく、勉強やスポーツにも打ち込みやすく、また、様々な食材が実り、食べる楽しみから、食欲の秋でもあります。

さて、皆さんは年度当初に立てた自分の目標・志を覚えていますか？4月から始まった1年も10月は中間地点となり、目標の達成に向けての未来像が見えてきているのではないのでしょうか。年度当初には、1年生が、中学生として勉強と部活動の両立、2年生が、先輩として1年生の手本になる、3年生が、部活動の3年間の成果や受験に向けての学習についての目標を立てた人などが多かったのではないのでしょうか？

では、今現在どうでしょう？順調に目標達成に向けて進んでいますか？過ぎ去ってしまった過去と現在を少し考えてみましょう。

皆さんは「千里の道も一歩から」という言葉を知っていると思います。古代中国の「老子」の言葉です。（千里という距離は約4000kmです。）どんなに長い道のりでも一歩一歩の積み重ねで、未来の目標に近づいていくと捉えてください。つまり、過去と現在は未来へと繋がっていると言うことです。

では、日々の生活に置き換えてみましょう。学習面では、今月中旬に中間テストがあります。1年生にとっては入学後3回目の定期テストです。もう、どのように取り組んでいけば良いのか、分かりますね。2, 3年生は、さらに経験があるわけですから言うまでもありません。今までの授業の積み重ねが過去です。そして、計画表に沿ってテスト勉強を進めていくことが現在（今）です。テストの結果が未来となりそうですね。学習を目標にした人は、このことを忘れずに頑張ってください！

また、3年生は修学旅行が月末にあります。新型コロナウイルスの影響で5月から10月に延期したこともあり、必ず実施したい。まさに、3年間の集大成の行事です。この3日間は学年の先生も私も3年生のみなさんに大いに期待しています。そして、この旅行を支えてくれる家の方々、旅館の方々に感謝です。では、初めての場所で初めての人たちに、何と言って入館するのでしょうか？まさか全員「こんにちは」の言葉しか出てこないなんてことはないですよ。まあ、間違いではないですが！）お世話になる方々との最初の出会いですから、言葉ひとつにも人間性が出てくると思います。松伏中の良いところは、心根の優しさや思いやりの心だと思います。このような場面でも、中学校3年間の経験を生かした、未来に繋がる素敵な言葉で、旅館の方々と接していただくことを特に期待しています。

感謝

最後に、当たり前のことですが、「返事」を大切にしてください。あいさつは、登下校時や校舎内でよく交わされていてとても気持ちが良いです。しかし、返事は先生との会話や授業中に指名されてもはっきりと「はい」と言葉が届いてこない場面が見受けられます。

未来を担っていくみなさんです。時間を守ることも大切です。あいさつや返事など当たり前のことが常にできる人であってください。さらなる成長を楽しみにしています。